

令和7年 第9回

宮崎市教育委員会(定例会)

会 議 録

公 開 部 分

令和7年 第9回宮崎市教育委員会定例会 会議録

- 1 日時 令和7年9月24日(水) 13:40~15:00
- 2 場所 教育委員会室
- 3 出席者 **【教育長・教育委員】**
黒木教育長、片山教育委員、小林教育委員、高峰教育委員
(松尾代表教育委員は欠席)

- 【事務局】**
(企画総務課)河野課長、田中補佐、黒木補佐、野邊補佐、甲斐主査
(学校教育課)小川課長
(生涯学習課)坂本課長

4 議案

| 番号 | 件名 | 説明者 |
|--------|---------------------------|--------|
| 議案第30号 | 宮崎市立学校管理規則の一部改正について | 企画総務課長 |
| 議案第31号 | 宮崎市立図書館管理運営規則の一部改正について | 生涯学習課長 |
| 議案第32号 | 宮崎市立佐土原図書館管理運営規則の一部改正について | 生涯学習課長 |

5 報告

| 番号 | 件名 | 説明者 |
|--------|----------------------------|--------|
| 報告第28号 | 令和7年第4回宮崎市議会定例会(9月)について | 教育局長 |
| 報告第29号 | 令和7年度(臨時)第3回いじめ防止対策委員会について | 学校教育課長 |

| | |
|----------|---|
| 黒木教育長 | <p>定刻になりましたので、ただいまから第9回教育委員会定例会を開会します。</p> <p>本日松尾代表教育委員が欠席です。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に基づき、教育委員及び教育長の過半数の出席となり、開催要件を満たしていますので告示どおり開催します。</p> <p>なお、本日の傍聴者は12名です。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名について」です。本日の会議録の署名人は私黒木と小林教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> |
| 教育委員 | 異議なし |
| 黒木教育長 | <p>次に、会次第「3 行事報告等」に入ります。</p> <p>「(1)教育長報告」ですが、こちらに記載のとおりです。</p> <p>次に、「(2)教育委員報告」ですが、教育委員報告についてはありません。</p> <p>「(3)の教育局長報告について」は後ほど、報告第28号において説明をお願いします。</p> <p>次に、「(4)各課行事報告」についても記載のとおりとなっています。</p> <p>特に行事等について何か委員の皆様で、質問はありませんか。</p> |
| 教育委員 | なし |
| 黒木教育長 | <p>それでは議事に入ります。議案が3件です。</p> <p>まず、議案第30号宮崎市立学校管理規則の一部改正について事務局から説明をお願いします。</p> |
| 河野企画総務課長 | <p>議案第30号宮崎市立学校管理規則の一部改正についてです。提案理由にありますように、小中一貫校について、宮崎市立学校管理規則に定めるためです。</p> <p>宮崎市立学校管理規則は、宮崎市立の小学校及び中学校の必要な基本的事項について規定しているものです。今回同規則において、小中一貫教育校について定めるため、新たに第8章を追加するものです。</p> <p>その中の第93条において、小中一貫教育校について定めています。表の左側が小中一貫教育校を構成する学校名を記載していき、右側は小中一貫教育校を総称する通称名という形で記載しています。</p> <p>今回、宮崎市初の小中一貫教育校設置にあたり、この定めをするものです。宮崎市立生目台小学校と宮崎市立生目台中学校、これらを総称して生目台学園と称することとしたいと思います。</p> <p>なお、現在小学校の名称は生目台東小学校ですが、前回の定例教育委員会でもお諮りしましたように、生目台東小学校の名称を生目台小学校に改めることについて、この9月の市議会で議決されましたので、来年4月から生目台小学校に名称を変更することとしており、この学校管理規則においても生目台小学校と記載しています。</p> <p>施行日は、令和8年4月1日としています。今後銘板の準備等があるため、このタイミングで提案をさせていただいたところです。</p> <p>また、この生目台学園という名称については、地域の方や児童生徒の意見をもとに決定しています。</p> |

| | |
|----------|---|
| 黒木教育長 | ただいま説明のありました議案第30号に対し、質問はありませんか。 |
| 小林教育委員 | まず、提案理由にある小中一貫校の表記ですが、こちら別紙の方では小中一貫教育校となっています。このあたりの文言の統一というのは、図られる必要がないのかどうかについて、ご確認いただければと思ったのですが、いかがでしょうか。 |
| 河野企画総務課長 | 学校教育法の施行規則等におきましては、例えば中学校併設型小学校とか、小学校併設型中学校という表現をしまして、これらについて、この学校管理規則においては、小中一貫教育校と呼ぶこととしておりますので、提案理由の方も本来であれば、小中一貫教育校とすべきであったと思います。 |
| 黒木教育長 | 他にありませんか。 ないようでしたら、議案第30号「宮崎市立学校管理規則の一部改正について」、承認いただけますでしょうか。 |
| 教育委員 | 異議なし |
| 黒木教育長 | ご承認ありがとうございます。 続いて、議案第31号「宮崎市立図書館管理運営規則の一部改正について」、議案第32号「宮崎市立佐土原図書館管理運営規則の一部改正について」は、関連する議案のため一括して事務局から説明をお願いします。 |
| 坂本生涯学習課長 | まず、市立図書館ならびに佐土原図書館です。利用期間は、現在、規則で年末年始の休館を12月29日から1月3日までの6日間と定めています。しかしながら、1月4日からの開館に備えて、複数の職員が年末年始の休日、いわゆる勤務を要しない日に出勤し、年末年始に返却された本の整理や配達された新聞雑誌等の整理、現状分との入れ替えといった業務を行っていたところです。 また、1月4日は開館初日ということで返却本が多く、システムの入力や配架といった作業で非常に慌ただしい開館日を迎えていました。今般、職員の職場環境を整えるためにも、休館期間を1月4日までとするよう、規則の一部を改正するものです。 この改正によりまして、年末年始の職員の休暇を確保しながら、1月4日の開館準備に備えて、翌日の5日から開館を支障なく行うことが可能となると考えています。 |
| 黒木教育長 | ただいま説明がありました、議案第31号及び32号に対し、質問はありませんか。 |

| | |
|----------|---|
| 小林教育委員 | <p>職員の職場環境というのはよく理解できますし、清山市長の市政の中でも、市民向けのサービスにおける開館時間の短縮をしたりということがなされていますので、これで問題ないと思っています。</p> <p>一方で、1月のこの時期は、もしかすると受験生が調べものをしたりといった市民のニーズに対しては、具体的に1月の年始の利用がどちらかというと少なかったとか、そういったことがあるのでしょうか。また、他の自治体とかはどうなってるのかという点も分かる情報があれば教えていただけないでしょうか。</p> |
| 坂本生涯学習課長 | <p>閉館にあたりまして、九州各県の県立図書館に休館日を確認したところ、休館期間については5日から9日までと幅広い現状がありました。概ね平均で7日間程度の休館期間となっているようです。</p> <p>また、九州管内の市立図書館等を確認すると、6日間から8日間の休館期間が多く、今回の改正で宮崎市立図書館と佐土原図書館の休館期間が7日間になりますが、概ね平均値ということになります。</p> <p>そうした他市の状況も踏まえると、受験生の分についても、あまり影響はないのかなと考えているところです。</p> |
| 小林教育委員 | <p>ぜひ周知をお願いしたいと思います。</p> |
| 黒木教育長 | <p>他にありませんか。</p> <p>ないようでしたら、議案第31号「宮崎市立図書館管理運営規則の一部改正について」、議案第32号「宮崎市立佐土原図書館管理運営規則の一部改正について」をご承認いただけますでしょうか。</p> |
| 教育委員 | <p>異議なし</p> |
| 黒木教育長 | <p>続いて、本日は報告が2件です。</p> <p>報告第28号「令和7年第4回宮崎市議会定例会(9月)について」、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 森屋教育局長 | <p>それでは、第4回宮崎市議会定例会、9月定例会について報告します。9月1日から9月18日までの日程で開催されました。初めに一般質問の状況について、11名の議員から69問の質問が出ました。</p> <p>主なものは、中学校の部活動の地域展開に関する事、児童クラブに関する事、それと複数人から、令和6年度から開始しています学校施設の包括管理業務委託に関する質問等を受けたところでした。</p> <p>続いて、9月定例会市議会に提案した議案です。提出した議案は、議案第125号、令和7年度宮崎市一般会計補正予算の第2号案、それから議案第147号として、宮崎市立学校条例の一部改正について、この2件を提案しました。</p> <p>内容については、前回の教育委員会で報告したとおりです。また、条例改正については、先ほどの議案第30号で企画総務課長からの説明にあったとおりですので省略しますが、いずれも原案のとおり可決されました。</p> |

| | |
|----------|---|
| | <p>なお、今回の議案の可決にあたり、文教民生委員会の委員長報告の中で、意見要望がありました。当局においては、小中一貫教育校の開校を単なる学校再編と捉えるのではなく、本市の教育における先進的なモデルケースとなるよう、児童生徒や保護者、地域住民の意見を十分に反映し、特色ある学校づくりを進められたいといった意見要望が出たところです。</p> |
| 黒木教育長 | <p>報告第28号について、質問はありませんか。</p> <p>先ほど局長の説明であったように中学校の部活動の地域展開、これが来年の秋を目途にスタートするという事なので、これについての質問は多かったですように思います。</p> <p>それでは、議事の進行上、報告第29号令和7年度第3回いじめ防止対策委員会については後ほど事務局から説明をお願いします。</p> <p>先に、「5その他の報告」(1)総合教育会議のテーマについて、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 河野企画総務課長 | <p>まず、総合教育会議ですけれども、自治体の長であります市長が主催するもので、市長と教育委員会が対等な立場で議論をし、本市の教育に関する課題や方向性を共有し、相互に調整して教育行政を進めていくために設置する会議です。</p> <p>今年度は、10月27日の月曜日に開催を予定しています。今回、テーマを2つ用意しています。まず1つ目は、昨年度の総合教育会議で議論していただき、今年度から予算化した取り組みとして、みやざきジュニアサイエンスアカデミーのこと、包括的性教育に関する取り組みの経過報告を予定しています。昨年度2月の第2回総合教育会議におきまして、学校以外でより高いレベルでより深く学びたいという、教育課程外の取り組みとして、プログラミングや宇宙をテーマとしたアカデミーコースと、各回ごとにテーマが異なるオムニバス講演を用意したみやざきジュニアサイエンスアカデミーについて意見交換をしていただきました。</p> <p>また、10月の1回目において、「子どもの命を守る教育について～性に関する様々な現状を踏まえて～」と題し、性感染症や犯罪被害等の本市の現状を踏まえて、意見交換をしていただきましたところでした。今回の総合教育会議では、これらの取り組み状況について、報告させていただきたいと思えます。</p> <p>それからもう1点は、宮崎市における魅力的な学校づくりについてです。以前の教育委員会でも報告させていただきました。7月に学校のあり方に関するアンケートを実施しましたが、その後、未来の学校づくり検討会を設置し、8月25日には1回目として、子どもと教職員にとって魅力的で感動的な学校づくりを実現するために、学校等でどのような取り組みが行われるとよいか、中学生や大学生、教職員等の3つの部会で、検討を行っていただいたところです。委員の皆様にもご参加いただきましたが、これについて11月5日には提言発表の場を用意しています。</p> |

| | |
|----------|---|
| | <p>その前の総合教育会議の開催となりますけれども、委員の皆様にはこれらの取り組みを踏まえて、今後の本市における魅力的な学校づくりの方向性について、市長と意見交換をしていただきたいと思いますと考えています。</p> |
| 黒木教育長 | <p>ただいまの説明について、何か質問等ありませんか。 よろしいですか。ないようでしたら(2)に関連してきますけども、教職員の職場環境に関するアンケート結果について事務局から説明をお願いします。</p> |
| 河野企画総務課長 | <p>教職員の職場環境ということで、学校を子どもにとっても教職員にとっても魅力的な場にするということで、様々な施策を組み立てていっているところですが、先生方にとって働く場としての学校の環境が今のままでいいのかということで、職場環境を改善していきたいということから全教職員を対象に、6月から7月にかけてアンケートを実施し、約1,900件の回答が得られました。</p> <p>年代別では、50代以上が半数ぐらい回答いただいています。これは実際の宮崎市の教職員の年齢バランスとも、概ねマッチしているところですが。</p> <p>改善が望まれている項目についてですが、これは選択方式で色々な部分を示して、選択肢の中から選んでいただくという形を取りました。優先度の高いものとして5つ回答していただく形でしたが、最も多かった順に、トイレ、続いて更衣室・ロッカーやOA環境、個人の作業環境といった順になっています。世代ごとに、特に大きな傾向は変わりありませんでした。</p> <p>改善が望まれている項目について、トイレについては洋式化やウォシュレット、汚れや臭いといった意見が寄せられました。また、更衣室が狭いとか、鍵がないといったことも入っています。</p> <p>また、個人の作業環境についても、やはり狭いとか、机や椅子が古いといった意見が上がっています。</p> <p>その他、空調や休憩環境についても、休憩する場所がないとか、休憩できる雰囲気ではない、食事のための簡易な設備不足などの意見も上がっています。</p> <p>それから、ソフト面の改善が望まれる項目についてですが、こちらは物品や情報の共有のしやすさ、整理整頓そういったところが意見として多かったです。また、デジタルツールの活用で、スケジュール、皆さん一人一人のスケジュールを共有化するとか、チャットを活用して、情報の伝達を行うと確実にスピーディーに伝達するなど、朝礼や打ち合わせの効率化、物の共有化については物の定位置を定めて、使った後はすぐ戻すとか、そういった声も上がっていたところですが。</p> <p>また、コミュニケーションと集中環境の両立というところのご意見もありました。意図的な雑談、相談の場の創出ということで、職員室内に円卓や小さなカフェスペースを設けて、気軽に話せる場所を作るですとか、意図的に雑談の機会を作ることで、仕事の相談もしやすくなるといった意見があったところですが。</p> <p>今後の取り組み方針ですが、アンケートを基に学校にヒアリングなどともしたいと考えています。</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>また、学校の視察として担当職員にも、見てもらっているところです。学校に限らず、今オフィスのあり方も変わってきていますので、そういった民間の知見なども、いただければということで、民間との連携も今考えています。</p> <p>今後、予算の獲得に向けて動いていきますが、すぐに実施できるもの、トイレのように時間と予算がかかるようなものもありますので、短期的・中長期に分けて、スケジュールも組んでいきたいと考えています。</p> <p>最後に、職員室のモデルとなるような学校を作れないかなということも、今考えているところです。</p> |
| 黒木教育長 | <p>ただいまの説明や報告について、質問はありませんか。</p> <p>委員の皆さんも学校を回られて、それぞれ感じるところがあるのではないかなと思うんですが。</p> |
| 片山教育委員 | <p>アンケートの結果を見させていただいた時に、先生方の改善したい、改善が望まれているところに、やはりトイレやロッカーについては、子ども達とあまり変わらないなということを感じました。</p> <p>やはり人としてという部分で、いつも伝えさせていただいていますが、生理的欲求が満たされないと学ぶ意欲や期待する気持ちはなかなか出てこないのではないかと思います。なかなか予算のことなどがあって急に進めれることではないとは思いますが、やはり早急に変えることで先につながるものが必ずあると思いますので、予算を取っていただく時に、未来に繋がっていくというお話をさせていただければよいなと感じました。</p> <p>また、我が子もプールの時に着替えるところも、高学年の女の子が着替えるところでも本当に1人のスペースしかなく本当に狭く暑いコンクリートの中で、もう本当に嫌だという話を聞きます。</p> <p>先生方も苦痛を持って着替えたりすると、その後の子どもに対する接し方ももしかすると変わってくるのではないかと思います。もちろんそこはプロとしてコントロールしていただきたい部分ですが、やっぱり人間の生理的欲求という部分も満たしていただければなと感じたところです。</p> |
| 小林教育委員 | <p>先日、青島小学校に訪問した際、児童にお手洗いの場所を訪ねたら、案内してくれて、私が出るところまで待っていてくれました。そして、「どうでしたか？」と聞かれました。「綺麗だったでしょ」と言うのです。青島小学校のトイレはすごく綺麗になってますので、そのことを自慢したいというようなそんな児童達でした。</p> <p>先ほど片山委員がおっしゃったように、環境経営っていうのは学校の先生としても大きな仕事の1つと言われていて、特に学級担任として授業も大事、また集団を率いることも大事なんだけれども、いかに環境を整えて居心地のいいところにするかっていうことがよく話題になります。</p> <p>そもそも環境のところが破損しているとか、そういったことはやはりよろしくないなということで、私もこの場で発言するのはどうかと思ったんですけど、過去に記憶にあるだけで3件ほど、モニターの破損や、便器に針金が巻いてあつ</p> |

| | |
|-----------------|--|
| | <p>て使用禁止になってる学校の事例がありました。また、家庭科室の水漏れの話もさせていただいたことがあります。</p> <p>ただ、その時教育委員会はすぐに動いてくださいました。すぐ学校に実際に見に行かれて、そして対応されたということをお聞きました。よく考えてみたら学校は、こういった短期的に解決できるものに対して、もしかするとあまり声をあげない、遠慮されてるのかなってというようなことも少し考えたことがあります。</p> <p>そうした中で、こういったアンケートを収集する仕組みを構築されているということは、本当に大切なことでもあるし、もし把握された中で短期的な解決が可能なことに関しては、是非手を入れていただいて、予算を十分確保していただくようなことも取り組んでいただく、そうしたきっかけとしても、このアンケート調査は、すごく意義があるものだと考えました。</p> |
| <p>高峰教育委員</p> | <p>アンケート結果について、コミュニケーションや情報共有が問題というのは分かるのですが、物の共有が一番改善が望まれているというのは、民間企業ではあまり出てこない項目だと思います。1人1個必要な何か、例えばハサミだったりそうした細々したものが、そもそも予算的に割り振られてないということなのか、それともデジタル的なものかアナログ的なものなのか、イメージがつかめないのですが、具体的な状況をご存知だったら、問題点について教えていただけないでしょうか。</p> |
| <p>河野企画総務課長</p> | <p>おそらくみんなで共有して使うものが、誰かが使った後になかなか定位置に戻ってないとか、そういうことではないかと推察しています。</p> |
| <p>高峰教育委員</p> | <p>1人1個のものではなくて、例えば裁断するものとか、そういうちょっと大きなものですか。</p> |
| <p>河野企画総務課長</p> | <p>ただ、1人1個ずつとか我々が持っているようなものも、学校によってはない場合も考えられると思います。</p> <p>職員室の改善に、もうすでに取り組んでいる全国の自治体の事例も色々ある中で、例えば1人1個ずつ持つてるハサミやホチキスといったような物品もオフィスのここに掛けて置いて、使うたびにそれを取って、使ったらすぐ戻すといった取り組みもあったりするようです。例えば、フリーアドレスにして席は固定しない、市役所も実はいくつかの課でそういう取り組みをしています。1人が1個ずつ全部持つておかないといけないという状況が正しいのかといったようなことも含めて、今後この中で検討してみたいと考えています。</p> |

| | |
|----------|---|
| 黒木教育長 | <p>他に質問はありませんか。</p> <p>小林委員が出していただいた意見の中で、先生方がなかなか声をあげなかったというところは確かにあって、どうしても学校現場では、トイレの洋式化一つをとってみても、子どものところからまず優先的にという、それはそれである意味当たり前と言えれば当たり前なんです、どうしても職員室だとか、執務環境については、先生方はこんなもんだろうと諦めてるようなところがあったのは事実だと思います。</p> <p>でも、学校をずっと訪問されてお分かりのとおり、昭和のままだと、なかなか教員採用の希望者、教員を確保に繋がる話で、本当に若者が学校に魅力を感じるんだらうかと、あのトイレを見て学校で働きたいと思うんだらうかといったようなところも色々議論して、やはり執務環境にもきちんと光を当てて、大人の執務環境もきちんと整えていこうというのがこのアンケートのスタートになりました。</p> <p>予想どおり執務環境については、トイレが1位でした。今、この清武の庁舎を含めた市役所でさえ綺麗になって環境が改善されてる現状も我々は分かっています。その中で、学校だけが変わらないというのは、やはり違うのではないかという意識で取り組んでもらっているところです。</p> <p>すでに学びの多様化学校では、新しい職員室をフリーアドレスで実施しています。先生たち職員の話を見ると、慣れれば違和感はないということでした。今までの職員室の本が積み重なって、ファイルが山積みというようなことはもうないですから、やっぱり先生たちの執務環境と意識を変えていく上では、これは意外と大きいことではないかと思っています。今後、きちんと予算をつけて進めていければと思っています。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、(3)宮崎市立小・中学校における時差出勤制度について、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 河野企画総務課長 | <p>こちら教職員の働き方改革にも関する部分になります。働き方改革を推進するために、令和7年2月に、宮崎市立小中学校における働き方改革アクションプラン第2期を策定し、現在、働きやすさと働きがいの充実を図っているところです。</p> <p>取り組みの1つとして、10月15日から2学期がスタートしますが、この2学期から教職員の方々が、必要に応じて時差出勤ができるように、試行的に制度を導入したいと考えています。</p> <p>これまでも長期休業期間には、校長の判断で時差出勤を設けている学校はあるようですけれども、今回は年間を通して、時差出勤制度を導入して、生活状況等に応じた柔軟な働き方ができるようにすることにより、教職員が働きやすい環境のもとで教育活動に専念できるワークライフバランスを推進することを目的としています。</p> <p>制度の内容は、早出が30分と1時間の2パターン、それから遅出も同様に30分遅れ、1時間遅れの4つのパターンを用意しようと考えています。</p> |

| | |
|----------------|---|
| | <p>例えば、子育て世代の場合には朝夕の保育園とかの習い事とか、そういったことへの送迎や、親御さんの介護、ご自身の通院等で、活用していただくことを想定しています。</p> <p>申請回数ですけれども、先生1人につき、1月あたり4回以内ということで、まずは実施してみたいと思います。1週間程度前には、校長先生他、関係する先生方と協議をした上で、前日までに申請をしていただくというふうに考えています。</p> <p>すでに、県や日南市では導入されていますが、副担任が少なかったり、いなかったりする小学校への導入ですとか、本市特有の初任者とベテランが多いという状況が懸念点であるため、まずは試行期間を設けた上で、来年の2月ぐらいを目処に、各学校の取り組み状況を、アンケートで把握した上で、令和8年度以降の実施について判断していきたいと考えています。</p> |
| 黒木教育長 | ただいまの報告について、何か質問はありませんか。 |
| 高峰教育委員 | 既に先行事例として、県とか日南市で実施されているということですが、どういった利点、効果がみられるかご存知であれば教えてください。 |
| 田中企画総務課長 補佐 | <p>日南市の小学校と中学校を視察し、その学校の教員の意見では、朝どうしても定期的に行かないといけないといったような、ご自身の子どもに関することがある時に非常に取りやすいということがありました。</p> <p>その学校の先生は、朝早く来られることが多いので、朝早い時間に出てくること自体は慣れてらっしゃいましたが、どうしてもその時間に予定を入れなければならない場合に、そういった制度があると他の先生方と協力し合ってカバーできるという体制が取れるため助かるという意見があったと伺っています。</p> <p>課題としては、遅出の取得率が少ないということで、その部分をバランスよく取れるようにするにはどうしたらいいかということの日南市では、これから考えていくと伺いました。</p> <p>特に、中学校は部活動がありますので、そこも含めて時間の取り方をうまく取れるような協力体制が学校でできるように、日南市教育委員会としても一緒になって考える取組をしたいとおっしゃっていました。</p> |
| 高峰教育委員 | 子育てをされてた女性の先生から、すごく大変だったといったお話を、先日伺ったところでしたので、大変良い取り組みだと思いました。 |
| 黒木教育長 | <p>他にありませんか。</p> <p>ないようでしたら、会次第「6 次回教育委員会について」と、「7 行事予定」について、一括して事務局から説明をお願いします。</p> |
| 河野企画総務課長 | <p>主なものを説明します。</p> <p>9月25日は、宮崎市経済フォーラム in Tokyo ということで、これは今回初めての取り組みになりますが、市長と教育長、東京への出張です。</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>9月29日からは、決算審査特別委員会市議会の関係ですが、決算の委員会の予定です。それを受けて10月7日は、宮崎市議会の臨時議会が予定されています。</p> <p>10月14日、市町村教育委員と県教育委員との意見交換会があります。県庁の附属棟で開催されます。委員の皆様のご出席をよろしくお願ひします。</p> <p>10月15日は、九州都市教育長協議会関連で17日まで、教育長が福岡県飯塚市に出張です。</p> <p>10月19日は、宮崎市未来の学校づくりに向けた検討会の第2回の予定です。</p> <p>10月21日が次回の定例教育委員会です。</p> <p>10月24日、宮崎県市町村教育委員会連合会の第2回理事会と県教育委員会との意見交換があります。松尾代表教育委員の出席です。</p> <p>10月27日は先ほど説明しました総合教育会議を予定しています。</p> <p>11月5日は、グローバルチャレンジの中学生の報告会と併せて、未来の学校づくりの検討会の第3回、ここは提言をいただく会となっています。委員の皆様のご出席もお願いします。</p> <p>11月6日は都市教育長協議会で、教育長は都城市に出張です。</p> <p>11月11日が、11月の定例教育委員会の予定です。</p> |
| 黒木教育長 | <p>ただいまの説明に対し、質問はありませんか。</p> <p>10月10日に臨時の校長会が入ってますが、宮崎市教育CIOの神野さんに講話をしてもらおうと考えてます。</p> <p>今、本市が進めている、子ども達にいろんな部分をもっと決めさせていくという取り組みを先行的に東明館でされていて、言葉で言うのは簡単ですが、実際に子ども達に決めさせる部分をどれだけ増やしていくかということは、かなり学校経営上うまくいかない部分もたくさん出てくると思います。その辺りの知見を神野さんから直接校長先生達にも話してもらって、ディスカッションできればという意図で、臨時という形で組んでいますので、もし時間があれば、ご参加ください。</p> <p>他にないようでしたら、報告第29号「令和7年度(臨時)第3回いじめ防止対策委員会について」、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> |
| 教育委員 | 異議なし |
| 黒木教育長 | <p>それでは、ただいまより非公開とします。</p> <p>傍聴者の方の退席をお願いします。</p> |
| 黒木教育長 | <p>以上で非公開は解除します。</p> <p>それでは、これを持ちまして第9回教育委員会定例会を終了します。</p> |